

総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会
省エネルギー小委員会 小売事業者表示判断基準ワーキンググループ(第5回)
議事要旨

1. 日時：2020年7月10日（金）13：58～16：16

2. 場所：経済産業省本館地下2階講堂

3. 出席者

委員：渡辺座長、天野委員、小西委員※、佐々木委員、中村委員、村上委員、
山川委員

オブザーバー：電子情報技術産業協会 田島オブザーバー

日本ガス石油機器工業会 平野オブザーバー

日本照明工業会 田口オブザーバー

日本電機工業会 江藤オブザーバー

日本冷凍空調工業会 吉田オブザーバー

大手家電流通協会 内海オブザーバー

全国電機商業組合連合会 齋藤オブザーバー

アマゾンジャパン合同会社 松田オブザーバー

ヤフー株式会社 海賀オブザーバー

日本ガス協会 本荘オブザーバー

石油連盟 田中オブザーバー

電気事業連合会 松崎オブザーバー

事務局：経済産業省 江澤省エネルギー課長、内山省エネルギー課課長補佐、
井出省エネルギー課課長補佐、神取省エネルギー課課長
補佐、佐藤省エネルギー課係長

4. 議事：

- (1) 小売事業者表示制度の見直しの方向性について
- (2) 対象機器、多段階評価基準及びラベルの見直し等について（案）
- (3) 今後の課題
- (4) 取りまとめ（案）について

5. 議事要旨：

○議事（1）小売事業者表示制度の見直しの方向性について

小売事業者表示制度の見直しの方向性について了承を得られた。

※2020年7月10日時点では、委員の任期切れに伴い、任命未了であったが、7月16日付で任命済み。

○議事（２）対象機器、多段階評価基準及びラベルの見直し等について（案）

本日の意見を事務局にて取りまとめに反映させた上で、座長に一任いただくことで了承された。

委員の主な意見等は以下のとおり。

- ・ 多段階評価基準はどういったタイミングで見直すのかは示してもらいたい。
- ・ 今回ミニラベルを設けるが、原則統一省エネラベルを表示し、スペースなどの問題で統一省エネラベルの表示が難しい場合はミニラベルを表示するように制度設計してもらいたい。
- ・ 新しい統一省エネラベルに関して、料金表示のインパクトが強くなったように感じる。料金表示は有効だと思うが、消費者への省エネ意識を促進していくということもラベルの効果として大事だと思うので、考慮が必要ではないか。

○議事（３）今後の課題

委員の主な意見等は以下のとおり。

- ・ 長期エネルギー需給見通しでは、潜熱回収型給湯器も高効率給湯器として普及拡大を目指しているので、ラベルの見直しで普及を阻害しないような工夫が必要ではないか。
- ・ 温水機器のエネルギー源を問わず同じ指標で比較できるのは良いと思うが、色々課題はあると思う。ラベルでは示せない情報を小売事業者が情報提供することが必要になってくるのではないか。
- ・ 電気温水機器（ヒートポンプ式）について、外気温で効率が異なり、相対表示の★の点数が変わるほどであれば地域ごとの効率での評価を考え、★の点数で示すというのもあるのではないか。
- ・ 電気温水機器（ヒートポンプ式）は、寒い地域では効率は落ちるので、一般地用と寒冷地用の機器を用意している。寒冷地用では、一般地用の性能に併せて寒冷地用での性能表示も行っている。また、寒い地域では効率は落ちることは確かだが、反対に暖かい地域では効率は上がる。
- ・ 電気温水機器（ヒートポンプ式）は外気温で効率が異なるのに対して、ガス温水機器はそれほど効率に変化がない中で、１つの効率で表示するのは消費者に誤解を与えてしまう可能性があるのではないか。

- 都市ガスの単価は全国 200 社ぐらいでは 3 倍程度違いがある。今回の目的は省エネ性能が良いものを買ってもらうという趣旨だと思うので、料金表示にあたっては注意深い検討をお願いしたい。

○議事（４）取りまとめ（案）について

本日の検討結果を事務局にて反映させた上で、座長に一任いただくことで了承された。

委員の主な意見等は以下のとおり。

- 自治体によってはこの表示を条例で義務付けているところもあるので、見直し内容を広く周知してもらいたい。周知にあたってはこの取りまとめを公表することや見直したラベル内容の Q & A など示してもらいたい。
- 統一省エネラベルが小売店・EC サイトでどのくらい提示されているのか調査していくことも必要ではないか。
- 見直し後のラベルの貼り換えについては小売事業者としても是非協力させていただきたいと思っている。

以上